

J Aおちいまばり 第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

生活福祉事業

ビジョン・目指すべき姿		住み慣れた地域での助けあいを軸とした地域セーフティネット機能を発揮するため、介護保険事業を通じ、健康でいきいきと安心して暮らせる「地域づくり」を推進します。							
重点方針	最重点実践方策	代表的な施策	3年間（平成28年度～平成30年度）の目標	平成29年度の目標値	達成度%	主な取組事項	今後の方針・課題	担当部署	
1	高齢者福祉事業を通じた地域活性化	住み慣れた地域での助けあいを軸とした地域セーフティネットの構築（JA版地域包括ケアシステム）	施設機能を強化し地域連携拠点としての役割を發揮します。 具体的には、各地域で開催される定期的な地域ケア会議に、各デイサービスセンターから参加し、地域を取り巻く福祉環境の向上に貢献します。 また、小規模多機能型居宅介護事業所において、地域認知度の向上に向けた活動として、園児や児童、学生との交流会等を開催し、地域・学校等との連携を深めます。	4か所のデイサービスセンターから年2回（通算8回）の地域ケア会議参加を3年間継続します。	各デイ年2回	0.0%	今年度、対象地域での開催がなく参加できていません。	情報収集するとともに、要請があれば積極的に参加し、地域の介護状況や介護資源の把握に努めます。	生活福祉課
			毎2回の交流会等開催を3年間継続します。	園児や児童、学生との交流会等開催（年2回）	50.0%	運動会等の見学をさせていただき、児童たちとの交流を楽しみました。	小規模多機能型居宅介護事業所に来所いただき、季節行事等と一緒に楽しみ、地域との連携に努めます。	生活福祉課	
			助けあい組織「太陽の会」と連携して、JA健康寿命100歳プロジェクトを実施し、地域の健康増進に貢献します。	平成28年度中に実施内容を検討し、平成29年度から毎年1回の実施を継続します。	検討	0.0%	組織広報課との連携不足により、計画実施に至っていません。	健康寿命100歳弁当コンテストや、介護予防運動等について具体的に連携していきます。	生活福祉課 組織広報課
			JA福祉事業の認知度を高めることにより、地域福祉環境の向上に貢献するため、JA広報誌にコンプライアンスに基づき効果的な情報の掲載を行います。	JA広報誌への年6回の情報掲載を3年間継続します。	年6回	17.0%	福祉用具（杖・シューズ）の提案をし、生活福祉部門のPRを行いました。	今後も定期的な紙面確保をしているので、より組合員・地域の方に役立つ介護情報を提案していきます。	生活福祉課 組織広報課
2	利用者の自立支援を核とした介護保険事業	中長期的な視野に立った人材育成	人材育成に向けて、資格取得への助成金制度を計画的に運用し、介護福祉士（国家資格）・介護支援専門員の資格保有者を増加します。	介護福祉士（国家資格）について、平成28年度は4名、平成29年度は5名、平成30年度は6名の取得を目指します。	4名取得	-	現在、3名が受験予定です。	各々が実務者研修を受講し、H30.1月の試験に臨みます。	生活福祉課
				介護支援専門員について、平成28年度は2名、平成29年度は3名、平成30年度は4名の取得を目指します。	2名取得	-	現在、3名が受験予定です。	7月・8月の受験対策講座を受講し、10月の試験に臨みます。	生活福祉課
		業務改善によるさらなるサービスの質の向上	未取得である認知症加算の取得に向けて、各デイサービスセンターから1名、認知症介護実践者研修を受講します。	4か所のデイサービスセンターから各1名（通算4名）の認知症介護実践者研修参加を3年間継続します。	各デイ1名 研修受講	25.0%	愛媛県社会福祉協議会第1期の募集に1名当選、現在受講中です。	国体の関係で募集回数が1回減っているため、ますます狭き門となっています。	生活福祉課
3	訪問診療を核とした歯科診療事業	口腔ケアによる健康な歯の維持・増進	組合員加入メリットを創出し、外来患者数・訪問件数の伸長に努め、地域組合員に貢献します。	訪問診療実施施設増加数年2ヶ所を3年間継続します。	訪問施設を2ヶ所増加	0.0%	寿山会グループと連携をしております。	さらなる知名度の向上を図るため、寿山会グループとの連携を深めていきます。	生活福祉課